

指定管理者制度導入施設の管理運営実績について(令和元年度)

調査表

施設名	宮崎県ひなもり台県民ふれあいの森
指定管理者	公益社団法人宮崎県森林林業協会
指定期間	平成30年4月1日～令和3年3月31日(3年間)
県所管部課	環境森林部環境森林課みやざきの森林づくり推進室

1 施設利用状況

指標	R1	H30	H29	増減理由等
ふれあいの森利用者数(人)	86,126	84,036	70,189	連休、休日に大きな災害が無く天候に恵まれたことや、近年のアウトドアブームによりオートキャンプの人気の高まっていること等の理由による増加。
オートキャンプ場利用者数(人)	18,104	15,081	12,692	
主催事業参加者数(人)	4,007	4,615	3,963	
コメント	ふれあいの森、オートキャンプ場の利用者数は、年度当初から概ね順調に伸び続け、計画値(ふれあいの森:81,000人、キャンプ場14,500人)を達成し、特にオートキャンプ場の利用者数は、過去最高となった。			

2 施設収支状況

(単位:千円)

収入	R1	H30	H29	支出	R1	H30	H29
指定管理料	29,313	28,780	25,672	人件費	25,798	26,257	23,925
利用料金収入	26,839	21,889	18,713	報償費	177	168	142
受取負担金	0	452	1,094	旅費	330	223	111
民間補助金	0	0	0	需用費	10,382	11,442	9,020
雑収入	659	819	729	役員費	1,022	904	876
				賃借料	1,580	2,090	1,921
				保険料	459	444	426
				負担金	80	69	68
				委託料	6,395	5,887	5,011
				租税公課	3,368	2,254	2,056
				その他	1,393	1,255	984
				県納付金	3,348	923	0
合計(①)	56,811	51,940	46,208	合計(②)	54,332	51,916	44,540
収支差額(①-②)	2,479	24	1,668				
コメント	オートキャンプ場の利用者数増により、利用料金収入も過去最高となった。昨年度と比べ支出は増加したが、収支は前年度に引き続きプラスとなった。						

3 管理運営状況

※下線部分は、令和元年度に新たに取り組んだ内容

事項	実施内容	
維持管理業務	清掃	森林学修展示館、森林体育館、宿泊施設、管理車道等の清掃(随時)
	保守・点検	消防設備点検(年2回)、電気設備保守点検(月1回)、浄化槽保守点検(週1回)、給水施設保守点検(随時)等
	警備	園内巡回、宿直体制による警備(キャンプ場宿泊利用者がある場合)
	修繕	キャビン、サンタリー棟等修繕等
	備品等管理	備品台帳の整備
	安全対策	作業器具の技術研修、救急救命講習会、自衛消防訓練、避難訓練
	その他	芝生管理、植栽木維持(剪定)、新型コロナウイルス感染拡大防止対策(消毒液の設置や場内消毒)等
企画運営業務	サービス提供体制整備	通年開園の実施、宿泊バック割引・メンバーズ割引・子育て支援割引制度、ゆったりキャンプ割引制度(冬期のアリーチェックイン、レイトチェックアウト)、利用者満足度調査(アンケート)の実施、ひなもり台利用促進協議会の開催、苦情処理検討委員会の開催
	イベント等ソフト面充実	企業訪問、イベント案内チラシの発送、新聞・雑誌掲載等による広報活動、スタッフブログ・インスタグラムによる情報発信、年越しキャンプ等自主イベントの開催、年賀状発送によるリピーターの獲得、フォトギャラリーコーナーの設置
	施設設備等ハード面充実	多目的ハウス・サンタリーでの防風板設置、センターハウス木質化、木製遊具の設置
	その他	
管理運営体制	職員の能力を育成する接遇研修や技術研修等の実施	
コメント	施設の維持管理は適正に行われている。また、新たな割引制度の導入等、利用者拡大に向けた企画運営が行われている。	

4 利用者満足度状況(利用者満足度調査、苦情・要望対応)

調査等方法	調査結果、主な苦情・要望内容		その対応結果等
アンケート調査等	施設・設備の管理や職員対応等については概ね高い評価を得ているが、一部、設備の故障等に対する苦情がある。		設備の故障については、可能な限り早急に対応した。また、「意見・苦情等処理検討委員会」を適宜行い、要望等を整理している。
	電話、インターネット等の通信環境改善の要望がある。		携帯電話アンテナ設置を予定している業者がいるため、早期設置のために協力している。

5 総合評価

評価コメント	マスメディアやSNSを活用した積極的な情報発信、職員の接遇マナー研修の実施、きめ細かな場内整備などを通じて、常にリピーターの確保やサービス向上に取り組んでおり、利用者から高い評価を得るなど良好な管理運営が行われている。結果としてオートキャンプ場の利用者数は過去最高となった。
今後の課題と対応	新型コロナウイルスの影響により施設を一時閉鎖し減少した利用者の回復・増加に向けた一層の取組が必要である。